

保護者の皆様

札幌市立南月寒小学校
校長 加藤 秀樹

令和6年度『全国学力・学習状況調査』
本校の結果及び改善について

秋冷の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、4月18日に全国の6年生を対象にした『全国学力・学習状況調査』が実施されました。本調査は、全国的な児童の学力や学習状況を把握・分析し、その改善を図るとともに、学校における児童への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的に実施しています。

本校においても6年生児童が調査を実施し、その結果がまとまりましたので、以下、調査結果の概要及び改善の方向性についてお知らせいたします。本調査によって測定できるのは、児童の学力や学習状況の一部分ではありますが、結果を分析して、本校の教育活動の充実に生かしていきます。

今後も、本校の教育活動にご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。

本校6年生の調査結果の概要及び改善の方向性

全国平均を △△上回っている △やや上回っている
 ▼やや下回っている ▼▼下回っている

【国 語】	
本校の概要	▼「話すこと・聞くこと」 △「書くこと」 △「読むこと」 ▼▼「言葉の特徴や使い方に関する事項」 △「情報の扱い方に関する事項」 ⇒「言葉の特徴や使い方に関する事項」で全国平均を下回っている傾向が見られました。
今回の調査における課題	□学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと、送り仮名に注意して漢字を文の中で正しく使うことに課題があります。
改善の方向	□基礎的・基本的な力を高めるために、日常的に漢字の学習の充実を図ります。また、自分の考えや感想を表現する学習において、既習の漢字を用いる意識を高めて取り組んでいけるよう働き掛け、言語活動の充実を図ります。

【算 数】	
本校の概要	▼▼「数と計算」領域 △「図 形」領域 ▼▼「変化と関係」領域 ▼「データの活用」領域 ⇒「数と計算」「変化と関係」の領域で全国平均より下回っている傾向が見られました。 ⇒図形の性質についての理解が全国平均よりやや上回っている傾向が見られました。
今回の調査における課題	□除数が小数である場合の除法の計算やその仕組みについての理解に課題があります。 □「速さ」を求めたり、その関係について記述で説明したりすることに課題があります。
改善の方向	□計算練習や授業のまとめにおける適用問題に取り組む時間を大切にします。 □問題場面を式に表したり、図を使って自分の考えを表現したりする活動を大切に、友達同士で考えを伝え合う場を工夫します。

＜全国平均より肯定的な回答の割合が上回っている項目＞

- ◇将来の夢や目標をもっていますか
- ◇5年生までの学習の中で、PC／タブレットなどのICT機器を活用することについて次のことはどれくらい当てはまりますか
 - ・すぐ調べることができる
 - ・楽しみながら学習を進めることができる
 - ・画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよく分かる
 - ・自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる
- ◇授業で学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりすることができると思いますか

■将来に対して夢や目標をもっている児童が多いのが伺えます。また、理科の学習に対する学習意欲の高さがよく表れています。

■ICT機器の活用については、子どもたちの満足度が高い結果となりました。ICT機器が、学習を進めていく上で必要な学習ツールの一つとなっていることが分かります。

■学習した内容は、実生活に生かすことができると考えている児童が多いことが分かります。一方で、それが学習意欲に直結していないという状況も他の質問から伺えます。児童の学習意欲を高めていけるような関わりを継続していきます。

＜全国平均より肯定的な回答の割合が下回っている項目＞

- ◇自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたか
- ◇各教科で学んだことを生かしながら自分の考えをまとめる活動を行っていたか
- ◇総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいるか
- ◇学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めているか
- ◇道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいるか
- ◇国語の授業で、目的に応じて、話すための集めた材料を、いくつかのまとまりに分けたり結び付けたりしながら、伝える内容を考えているか
- ◇算数の授業の内容はよく分かるか
- ◇算数の問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしているか
- ◇英語の勉強は大切だと思うか

■学習については、自分の考えを「まとめる」「組み立てを工夫する」「伝える」など、表現することに対しての自信のなさが顕著に表れる結果となりました。今後は、表現活動を効果的に取り入れ、表現する場を保障するとともに、「情報の整理」「構成の工夫」に留意しながら相手意識をもって自分の思いを伝えていけるように支援していきます。

■算数に苦手意識をもっている子が多い傾向が見られました。今後は、子どもたち自身が学習することの意味を知り、学習したことを今後どう生かすかという意識を高めていけるように、子どもたちへの声掛けを継続していきます。子どもたちが意欲的に学習に取り組めるよう、今後も職員間で指導方法の交流、改善に努めていきます。

＜生活に関わって＞

- ◇平日、テレビゲーム（コンピューターゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）を2時間以上する児童の割合
→55%（全国49.2%）
- ◇平日、SNSや動画視聴を2時間以上する児童の割合
→37%（全国33.8%）
- ◇携帯電話・スマートフォンやコンピューターの使い方について、家の人と約束したことを守っている
→79%（全国71.1%）



2時間以上、ゲームやSNS等をしている児童は全国を大幅に上回ったものの、8割の児童が家の人との約束を守っているという結果となりました。学校でも引き続き、情報モラル教育を継続して行っています。ご家庭での遊び方・使い方の再確認をお願いいたします。